

令和3年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる
「共同研究班」 研究報告書

令和4年7月22日現在

研究課題名	ロシアの極東・極北地域の社会・経済発展に関する共同研究		
担当者	氏名		所属機関・職
	1	田畑伸一郎	スラブ・ユーラシア研究センター・教授
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	志田仁完	西南学院大学経済学部・ 准教授	ロシア極東の経済
	研究テーマ		
	ロシア極東地域の社会・経済発展		
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	山脇大	日本銀行国際局・職員	ロシアのエネルギーと環境
	研究テーマ		
	ロシアの気候変動政策		

研究成果の概要

ArCS II 社会文化課題のサブ課題「エネルギー資源開発と地域経済」と連動して、主としてロシアの北極域の社会・経済発展に関する研究活動を行った。また、2021年11月に「脱炭素とロシア経済」研究会が田畑を中心に立ち上げられたが、志田と山脇はこの設立メンバーとなった。ロシアの極東や北極域を含めて、エネルギー資源開発を中心として、世界的な脱炭素の動きの影響を検討することを進めたが、2022年2月にロシアによるウクライナ侵攻があり、この影響を考察することも班の活動に加えられた。脱炭素や脱ロシアがロシアの極東や北極域の社会・経済発展にどのような影響を与えるかについてオリジナルな考え方を示すことができた。

志田と山脇が参加した主な研究活動は次の通り。

- ・ 2021年8月21日にSRCで開催された上記サブ課題研究会において、オンライン参加の山脇が「ロシアにおける資源開発と気候変動政策」、田畑が「サハにおける鉱業の経済発展・財政への貢献：統計分析」と題する報告を行い、志田が討論に加わった。
- ・ 2021年11月11日に北海道大学東京オフィスで開催された第1回「脱炭素とロシア経済」研究会において、田畑が趣旨説明を行い、オンライン参加の山脇が「欧州で加速する脱炭素の動き：現状と課題」と題する報告を行い、志田が討論に加わった。
- ・ 2022年2月14日に東京証券会館で開催された社会文化課題セミナー「迫られる脱炭素と先

研究成果の概要（続き）

住民社会への対応：ロシア北極域で進む石油・ガス開発」において、田畑が「脱炭素のロシア経済発展・北極域開発への影響」と題する報告を行い、志田が対面参加、山脇がオンライン参加で討論に加わった。

- ・ 2023年6月12日に函館大学で開催された比較経済体制学会において、自由論題パネル「脱炭素・脱ロシアのなかのロシア・ウクライナ経済」を組織し、田畑が「世界的な脱炭素・脱ロシアのロシア経済発展への影響」、山脇が「中央銀行のグリーン化：ロシアに焦点を当てて」と題する報告を行い、志田が討論に加わった。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書等）※謝辞の有無について明記願います。

志田仁完「コロナ禍に対峙する極東経済特区：企業の入居と退出の現状」『ERINA REPORT (PLUS)』第162号，2021年10月，pp. 35－42。（査読なし）（謝辞あり）

志田仁完「新聞記事を通して見た日本の対ロシア経済制裁に関する関心について」『ERINA REPORT (PLUS)』第165号，2022年4月，pp. 38－44。（査読なし）（謝辞あり）

山脇大「石油・ガス大国ロシアの再生可能エネルギーへの移行：現状と課題」『ロシア・ユーラシアの社会』第1060号，2022年2月，pp. 30－43（査読あり，謝辞あり）

田畑伸一郎「世界的な脱炭素・脱ロシアのロシア経済発展への影響」比較経済体制学会，函館大学，2022年6月12日（謝辞なし）。

山脇大「中央銀行のグリーン化：ロシアに焦点を当てて」同上学会（謝辞なし）

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）
なし

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。